

2025年(令和7年)

第884号

9月

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部
杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.tton.ne.jp
定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します



8月7日の勝利和解の瞬間

建設アスベスト
訴訟東京1・2陣

建材メーカーにも勝利和解 和解金52億円

建設現場でアスベスト(石綿)を吸って健康被害を受けた元労働者・遺族が損害賠償を求めた二つの訴訟は8月7日、東京高裁で建材メーカー17社と和解が成立しました。このうち主要メーカー7社が原告400人に対し約52億円の和解金を支払い、謝罪するという内容です。複数建材メーカーと原告の和解は初めてであり、今後の全国の訴訟に大きく影響し、早期和解が期待できます。

建設アスベスト訴訟は2008年5月に第1陣が提訴し、その後全国各地で訴訟が続きました。最高裁は、東京第1陣など4訴訟について、2021年5月に国と一審を認める統一判断を示し、建材メーカーの責任について、高裁に差し戻していました。

この日は第1陣の差戻し戻し審と、第2陣の控訴審の二つの訴訟でそれと同様に和解が成立。被告は、これまで数十年はかかります。そして発症後に亡くなる例が多く、第1陣原告261人が亡くなっています。そこから早期解決が望まれていました。建材メーカー側は、

建設アスベスト訴訟 たたかいで歴史



- 2005.6 クボタショック
- 2006.2 石綿による健康被害の救済に関する法律(石綿救済法)成立
- 2007.10 首都圏建設アスベスト訴訟原告団結成
目標「あやまれ! つぐなえ! なくせ! アスベスト被害」
裁判に依らないアスベスト被害の早期補償(基金制度創設)
- 2008.5.16 東京1陣1次原告 東京地裁へ提訴(原告167人)
→その後、神奈川・大阪・京都・福岡・札幌でも提訴
- 2010.4.23 東京1陣2次原告 東京地裁へ提訴(原告138人)
- 2012.12.5 東京地裁1陣 東京地裁「国に初勝訴、建材メーカーに敗訴」
- 2014.5.15 東京2陣 東京地裁へ提訴(原告115人)
- 2015.7 高裁での原告本人尋問実施を求める大運動
- 2016.1 京都1陣 京都地裁判決「国に勝訴、建材メーカーに初勝訴」
- 2017.10 神奈川1陣 東京高裁判決「国・建材メーカーに勝訴」
- 2018.3.14 東京地裁1陣 東京高裁
「国に勝訴、一人親方初勝訴、建材メーカーは敗訴」
- 2018.8 京都1陣 大阪高裁判決「国・一人親方・メーカーに勝訴」
- 2018.9 大阪1陣 大阪高裁判決「国・一人親方・メーカーに勝訴」
- 2019.11 九州1陣 福岡高裁判決「国・一人親方・メーカーに勝訴」
- 2020.3.24 東京3陣 東京地裁へ提訴(原告103人)
- 2020.9.4 東京2陣 東京地裁 国と企業に勝利判決
- 2020.12.14 東京1陣 最高裁での上告棄却、国の賠償賠償責任が確定
- 2020.12.23 東京1陣 最高裁での敗訴確定 田村厚労大臣が原告に謝罪
- 2021.5.18 菅首相が原告代表に面会し、謝罪 国と基本合意締結
- 2021.6.9 国の建設アスベスト給付金法が成立
- 2022.1 建設アスベスト給付金制度スタート
- 2025.8.7 東京1陣・2陣 「建材メーカーに勝利和解」

アスベスト被害は「静かな時限爆弾」とも呼ばれ、吸い込んでから発症まで数十年はかかります。そして発症後に亡くなる例が多く、第1陣原告261人が亡くなっています。そこから早期解決が望まれていました。建材メーカー側は、

吉田重男さんは「裁判官がメーカーに初めて正面から謝罪しろ」と言つてくらへた」と語りました。

こうした中、東京高裁が1千ページを超える和

解案をまとめ、その中で

メーカーの責任範囲が示

されたことで、今回の歴

史的勝利和解につながりました。

吉田重男さんは「裁判官

がメークーに初めて正面

から謝罪しろと言つてく

られた」と語りました。

秋の拡大月間スタート 組合の魅力を仲間に伝えよう

秋の拡大月間がスタートしています。
行動日には分会センターに集まり「魅力・困りごと」を仲間と対話する訪問行動に取り組みます。ご協力をお願いします。

行動参加者特典 スタンプカードで

15マスのスタンプカードに押印。5ポイントごとに「レトルトカレー」か「カレー味

カッパラーメン」をプレゼントします。拡大

打ち上げ式では、スタンプカードによる抽選

会もおこないます。

レゼントします。拡大

ドジャースの大谷翔平選手

今の人には武蔵よりLA

ドジャースの大谷翔平選

手だろう。今期も目を見

張る活躍ぶりだ。▼大谷

選手のように仕事をする

のが理想じゃないかと、醉

いに任せて仲間と盛り上

がった。五十肩で100マ

イル出せるか……というの

は冗談だが、日々怠らず技

術を磨き、最高のパフォー

マンスを發揮する。そして

それに見合う報酬を堂々

と受け取るのだ。▼大谷

選手はじめメジャーリー

ガーラたちも、契約更改の場

ではしつかりと声を上げ交

渉をおこなっている。金銭

のためだけにプレイしてい

るわけではない、しかし報

酬はある意味で自らの仕

事に対する評価そのものだ。

だからこそ簡単には夢ある建築業界にいくため、
単に妥協することはできない。▼夢ある建築業界にいくために、
私たちもしっかりと声を上げていこう。

建設業界にいて、
単に妥協することはできない。▼夢ある建築業界にいくために、
私たちもしっかりと声を上げていこう。

久我山稻荷神社の神輿にて

三瓶親方のもとで4年間修行したあとに実家へ戻り、父親と叔父（父の弟）と一緒に仕事をするようになりました。叔父が一の弟子です。

「新年号」1面参考照)は1つ上の先輩で、試合で一緒にプレーした仲間です。

見えない所にどれだけ手を掛けられるか

すずき きよし
鈴木 清司さん 富士見・内装

私は杉並区永福町で生まれ、富士見ヶ丘で育ちました。3人兄弟の次男です。富士見ヶ丘小学校時代はサッカー部に所属し、杉並区予選会で優勝、都大会では全国大会出場まであと1歩のところまで進みました。同じ富士見分会の佐藤雄一郎さん（※

専門でクロスを貼り、襖や床は父と私が担当しました。目に見えない部分にどれだけ手を掛けられるかで、仕上がりの持ちがまったく違ってきます。仕事での苦労は誰しもあると思いますが、やりがいはやはりお客様から感謝の言葉をいただけることではないでしょうか。



第 380 回

結婚して久我山に引っ越しました。お祭りも好きで、久我山稻荷神社の神輿の責任者も務めています。

今の時代、材料代が上がりましたが取引先は理解を示してくれたり、それに合わせて単価が上がりました。ただ、現場で若い人を一から育てるだけの時間も単価も確保できないことが残念です。

とてはなしてし

有明四季劇場口ビーにて



**8.30 杉並支部ひまわり
劇団四季「ライオンキング」観劇会**

压巻の大迫力、

その全てに魅了

8月30日に杉並支部ひまわりで劇団四季「ライオンキング」観劇会を開催しました。私自身初めての観劇で、参加は高校生までのお子さまがいる家族限定でした。が、ひまわり役員として参加することができました。

知り合いから「ライオンキング」の評判は聞いていたものの、チケット代が高額のため観劇をあきらめていましたが、

劇は圧巻の大迫力で舞台装置、音響、演者さんの演技、その全てに魅了され、最後はスタンディングオーバーで拍手する人も。何度もカーテンコールがあり、大満足の1日となりました。

ひまわりは、今後も家族で楽しめる取り組みを計画していきます。会員は随時募集中です（会費目

100円）。

ひまわり事務局長
依田あかね

ひまわり会員割引で半額以下で観劇できましたこともうれしかったです。2階のS席というすごく見やすい席で、念のため用意したオペラグラス

その全てに魅了